

花と緑にあふれ 歴史が息づくまち 清水南

— 地域づくりの拠点として —

清水南公民館

1 清水南地区の概要

昭和 30 年、丹生郡志津村、三方村、天津村が合併して清水町となったが(清水南地区は天津村に相当)、その後清水町は平成 18 年に福井市に合併し、今日に至っている。本地区は、天王川と志津川、日野川の恵みを受けた肥沃な田園地帯にあり、コシヒカリをはじめ良質の米、麦、大豆を産し、幻の地酒「天津神力(あまつしんりき)」や手作りの田舎味噌「新ちゃんみそ」などの名産を育んでいる。

本地区は 11 の集落からなっており、地区の中央部を主要地方道福井・朝日・武生線(広域農道)が縦断している。西部には健康づくりの拠点施設である「ふくい健康の森」が立地されており、北部には商業施設と市保健センターや総合運動公園「きららパーク」、こども園、中学校、図書館、公民館などの教育関連施設がある。また、南部の日野川沿いに「グリーンピア清水工業団地」が造成されており、プラスチック加工、電気、鉄鋼関連の工場が建ち並んでいる。

このように本地区は自然が豊かで様々な施設が立地しており、快適で生活しやすい環境にある。また、福井市街地や鯖江市、越前市、丹生郡への交通網が整備されており、地区外へ働きに出ている住民が多い。

かつて本地域の基幹産業であった稲作中心の農業は、現在個人で従事する人が少なくなってきており、生産組合等に委託したり、法人化して共同で行ったりしている農家が増えている。また、本地域には、住宅団地が造成されなかったこともあって少子高齢化が一層進んでおり、校区の清水南小学校の児童数は現在 90 人を下回り、年々減少の一途をたどっている。

平成 31 年 1 月 1 日現在、人口は 2,253 人、世帯数は 860 戸である。

2 地域づくりの拠点として

清水南公民館は、様々な教育事業の開催や自主グループ活動の支援など生涯学習の拠点としての活動に加え、防災訓練・区民運動会・敬老会・ふるさとウォーク等の地区行事(事業)に対し、各種団体と協働して地域づくりの拠点としての活動にも積極的に取り組ん

でいる。

以下、公民館が関わる特色ある地域づくりの活動をいくつか紹介する。

(1) 「心豊かな人情のまち」

～ふるさと発見、魅力づくりプラン～

語り部と歩くふるさとウォーク

ふるさと清水南地区のよさを知り、誇りと愛着を深めてもらうことを目的に、平成 21 年度より毎年 11 月に実施している。



日野川と山に挟まれた清水南地区内には、多くの古墳や城跡、神社や寺院、寺院跡などが点在し、ゆっくり歩くことでこうした歴史と魅力が再発見できる。

清水南地区まちづくり協議会の「活き活きまちづくり委員会」が中心となって準備をする手作りイベントで、子どもからお年寄りまで毎年約 150 人が参加する。「知る」だけでなく、歩くことが健康づくりにつながり、世代を超えたふれあいで交流も図ることができる。

イベントは清水南 11 地区を 5 つに分け、毎年順番に 1 つずつ歩いており、現在 2 巡目に入っている。住民の間にも浸透し、訪問場所や沿道の清掃、休憩時やウォーク後にふるまわれる地区の特産を生かした菓子や料理作り等、地元の自治会、婦人会の協力が活発になってきている。

また、近年は小学生、中学生が「地域と進める体験推進事業」の一環として、当日のウォーク参加だけで



なく、ふるまいの菓子作りや受付のお手伝い等にも関わってくれるなど、地区全体が結束した活動になって

きている。

公民館は、ウォーク自体の運営にも深く関わっているが、それ以外にも教育事業で「清水南地区の歴史講座」を一般対象と小学生対象別々に企画するなどして、地域の歴史や魅力の再発見に貢献している。

(2) 「花と緑にあふれた潤いのあるまち」

～花と緑がいっぱいエコプラン～

自治会花壇活動

清水南地区では、「地域の魅力発信事業」の一環として 11 自治会すべてに地区花壇が設置されており、地域をあげて「花と緑のまちづくり」に取り組んでいる。



昨年も全自治会が福井市花壇コンクールに応募し、2 つの自治会が入賞した。多くは寿クラブ(老人会)の力を

借りて運営されているが、近年は自治会や小・中学生が運営に参加している地区もあり、活動の幅が広がっている。

公民館も教育事業で「園芸講座」を開講し、花壇活動に参加していただくボランティアを育成したり、各地区の代表者に花の苗を配布する際に「花壇講習会」を企画したりすることで、各地区の環境美化活動を支えている。

レインボー花壇

県道島寺交差点にある 4 つの大型花壇は、「清水南レインボー花壇」の名称で清水南の顔として多くの人に親しまれている。

管理・運営はボランティアグループ「虹の会」(会員 20 名)のメンバーで行い、春花壇と夏花壇の花の種類選定、デザイン、整地、定植、水やり、草取り、撤去等、大変地道な活動を経て、毎年きれいな花を咲かせ、地区住民やドライバーの目を楽しませている。

公民館は教育事業で「お花ボランティア教室」講座



を開講することで、「花と緑にあふれた潤いのあるまちづくり」を目指して花壇活動に参加いただくボランティアの育成を図っている。

(3) 「安心して暮らせる住みよいまち」

～活き活き健康・安心安全プラン～

健康長寿教室

地域の高齢者の方が元気に暮らせる知識と健康法を学び、軽スポーツ(健康体操)を楽しみながら体力維持に努めてもらうことを目的として、「健康長寿教室」(年 5～6 回)を公民館主催で開催している。

健康についての話と体操が主であるが、他地区の寿クラブとスポーツ体験交流会を行うこともある。今年はフロアーカーリング大会を行い、大会後は郷土料理の弁当を食べ

て交流した。地区の敬老会の講話や合同デイホームでの健康体操教室も健康長寿教室の一環



として公民館が担当している。

3 終わりに

清水町時代は清水南地区全体のこととなると行政任せのことが多かった。福井市に合併し、その点は改善されつつあるが、まだまだ十分とはいえず、誰もが気軽に参加できる住民自治の確立を目指し、自主的な地域づくりをしていくことが求められている。

そこで、清水南公民館では、各関係機関や団体と協働・連携を深めながら、教育事業の講座にまちづくり事業と関連のあるもの(園芸教室や地域の歴史講座等)を取り入れるなど、「地域づくり」と「生涯学習」を一体化させて取り組むよう努力していきたい。

清水南地区を通っていると、あちらこちらに、美しく手入れされた見事な花壇が目に入ってきます。これは、11 の自治会の結束が表れたまちづくりの象徴だと分かりました。これからも、清水南公民館が「地域づくりの拠点として」の役割を担いながら充実した活動を展開し、地区の伝統が受け継がれていくことを願っています。